

ロップゴン（国家指導者候補者研修）同窓会挨拶  
（3月12日（火）18：15～ 於：公邸）

グエン・スアン・タン ホーチミン国家政治学院 学院長  
ター・ゴック・タン ホーチミン国家政治学院 前学院長  
吉田 耕三 人事院人事官  
山野 岳義 全国市町村振興協会 顧問  
ロップゴン訪日研修参加者の皆様

- 日本政府を代表し、一言挨拶を申し上げます。国家指導者候補者研修、いわゆるロップゴン（Lóp Nguồn）において訪日研修に参加された皆様をお迎えし、同窓会を開催できることを大変光栄に思います。
- ロップゴンでは、人事院に多大なるご協力をいただきました。本日は、その人事院から、吉田人事官、山野 元人事院事務総長にもご出席いただいています。また、JICAには円滑な訪問実現に大きな貢献を頂きました。
- 2016年の共産党大会では、訪日研修に参加された113名のうち、実に33名の方が中央委員に選出されました。そして現在では、大臣に就任された方をはじめ、多くの方が党・政府の中核でご活躍されています。
- 皆様のご活躍を心からお喜び申し上げるとともに、2点お話をさせていただきます。
- 1点目は、ベトナムの公務員人材育成に対する日本の協力についてです。2016年12月、ファム・ミン・チン共産党中央組織委員長・越日友好議員連盟会長から安倍総理に対し、ベトナムの最重要課題の一つとして、行政改革と人材育成について協力要請がありました。翌2017年6月、フック

首相の訪日時、安倍総理は800名以上の党・政府の幹部候補生に対する研修機会の提供を表明しました。

- これを受け、昨年からは、JDSという枠組みを活用し、毎年65名のベトナムの行政官を修士課程・博士課程に招聘しています。また、5年間で500名程度の中堅幹部を対象に短・中期の訪日研修を計画しており、昨年10月にはその第一陣として19名が日本を訪問されました。また、本年4月には第二陣の訪日も予定されています。
- そして、この枠組みにおいて、2021年の党大会に向けた次フェーズのロップゴンに、日本政府が協力することとなりました。今回も、人事院に全面的に協力いただきます。具体的な内容はこれからホーチミン国家政治学院と詰めることとなりますが、前回のロップゴンに参加された皆様のご意見も取り入れつつ、より効果的な研修にしたいと考えています。
- 2点目は、ベトナム経済の将来についてです。現在、ベトナムでは成長率をはじめマクロ経済は大変好調であり、外国投資の流入も非常に順調です。ベトナムは発展のエネルギーに満ち満ちており、大きく飛躍する歴史的チャンスを迎えておられます。
- その一方で、とても残念なことですが、最近、日本関係者のみならず、外国政府関係者からも、「越政府が過去の約束（例：税優遇措置）を反故にしようとする、国際ルール・慣行と整合しない措置をとる、支払いが大幅に遅延している」等の懸念の声が頻繁に聞かれるようになりました。ベトナムの国際的信用にかかわる問題であり、リーダーの皆さんには、早期の改善をお願いしたいと思います。
- 日本は、ベトナムが現在の歴史的な好機を活かし、政治・経済・安全保障の

分野でより強く、発展した国家になって欲しいと心から願っています。そのために、ベトナムとの連携を強化したい意向です。ベトナムの発展は、日本を含む東アジア地域の安定と繁栄にとってとても重要です。ベトナムの将来を担う皆様の更なるご活躍を心から期待いたします。

- 最後に、皆様のご健勝、ベトナムの更なる発展、日越関係の一層の緊密化の3点を祈念し、私の挨拶といたします。

ありがとうございました。(了)